

アス・ストップ工法

1. 概要

アス・ストップ工法とは、地中構造物の躯体コンクリートに発生するクラックや、打継ぎ目からの漏水を止める止水工法です。

アス・ストップ工法に用いる材料をアス・ストップシールと称します。

アス・ストップシールは、アスファルトの優れた防水性とコンクリートへの付着性を備えた、安定性並びに信頼性の高いアスファルト系の注入材であり、地下構造物の背面に止水層を形成してクラック内部に充填されます。

アス・ストップシールは、アスファルト乳剤とそれを硬化させるための硬化剤から構成されています。

2. 特徴

- 1) 信頼性の高い止水性を有します。
- 2) 硬化時間の調整ができます。
- 3) 施工性が優れています。
- 4) 環境に優しい材料です。
- 5) 耐久性に優れています。
- 6) 優れたクラック追随性を有しています。

3. 用途

- 1) 地下室の止水
- 2) 地下鉄の止水
- 3) 地下処理場の止水
- 4) トンネルの止水

4. 実績(2005年3月現在)

官庁工事16件、民間工事2件 計18件

